

市民の笑顔

2024
(令和6年)
2月1日
No.65



健康太極拳教室

 南伊勢町議会だより

主な内容

12月定例会	P 2
一般質問	P 4
委員会活動報告	P12
つばやき広場	P13
みんなでやっとなるで〜ほか	P14

重点事業と注目ポイント

12月6日から7日までの日程で、令和5年第4回南伊勢町議会定例会が開催されました。
決算認定8件、補正予算案8件、条例案7件、その他の議案1件、同意5件、あわせて29件が
提案され、すべて原案通り可決・承認されました。
一般質問では、議員7名が質問を行いました。

議案第91号 令和5年度南伊勢町一般会計補正予算（第8号）

町内の消費を喚起します



町内の対象店舗のみで利用可能なプレミアム付商品券を発行することで、消費の下支えを通じた地域経済の活性化を図ることを目的とします。
使用可能額 一人当たり8,000円
(4,000円で購入可能)

プレミアム付商品券事業
5387万円

議案第91号 令和5年度南伊勢町一般会計補正予算（第8号）

うれしい&助かります



電力・ガス・食料品等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯（住民税非課税世帯）に対し、一世帯当たり7万円を支給します。

物価高騰緊急支援
給付金事業
1億6350万円

地 域活性化のため



地域みんなが笑顔で暮らせる元気で
明るいまちをつくるため、令和 6 年度に
神津佐に建設予定です。

(債務負担行為補正)

927万円

建設事業

コミュニティセンター

出 動のないように



南伊勢町消防団の穂原分団第 5 部(内
瀬)、第 2 分団第 4 班(伊勢地)における消
防ポンプ車の経年劣化に伴い、車両の更
新を行うものです。

1506万円

軽四積載車

小型動力ポンプ付

議案に対する議員の表決状況 (賛否の分かれたもの)

議 案 名 等	政 党											共産党
	無 所 属											
議 員 名	上村直美	田岡悟	山本克彦	森源久	倉田育	河村健志	掛橋靖	田中喜一郎	岡本眞	東伊久雄	松葉和久	岡田和夫
認定第 8 号 令和 5 年度南伊勢町病院事業会計決算	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●
議案第 77 号 令和 5 年度南伊勢町一般会計補正予算 (第 7 号)	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●

※表決 (○=賛成 ●=反対 退=退席 議=議長)
 ※政党 (無=無所属、自民党=自由民主党、共産党=日本共産党)
 ※議長は表決に加わらない。

あなたの声を町政に!!



一般質問

議員の **Q**uestion 行政の **A**nswer

一般質問は、町民の声や議員自身の考えをもとに、町の行政・財政の全般にわたり、執行機関に対して疑問点をだし、将来に対する政策方針などを問うものです。

質問議員	質問事項	ページ
倉田 育	① 法改正に伴う建物・土地問題の解決とサポート体制について ② 耕作放棄地の解消と農地法改正について ③ 町独自の短期就労・求人情報支援について	5
岡田 和夫	① 災害時の二次避難所の確保と、避難所の割り当てについて ② 大規模災害時における役場職員の避難者支援活動について	6
田岡 悟	① 養殖漁業の振興について ② 観光と漁業について ③ ふるさと納税について	7
上村 直美	① 安全安心のまちの実現に向けて ② 町の公園整備状況について ③ 広域でのごみ処理の現状と課題	8
田中 喜一郎	① 当町における「権利ようごセンター」の取組と展望について ② 地域を守る消防・防災・救急体制について	9
森 源久	① 人口減少に関連する事柄と対策、並びに費用対効果 ② 南伊勢町の展望と未来	10
岡本 眞	① みなみいせまつりについて ② 町政懇談会について	11

議会を傍聴しませんか

次回定例議会(予定)

3月
議会

3月4日～3月25日

傍聴の受付は議会事務局まで。

皆様の傍聴をおまちしています。

議会に関するご意見、ご要望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

TEL 0599-66-1781 FAX 0599-66-2164

一般質問の質問事項・内容は、議会広報特別委員会では会議録に基づいて編集、要約しています。詳細は、議会事務局に、お問い合わせください。



くらた いく 議員
倉田 育

相続登記のサポートは

町長 相談対応し、周知していく

Q

2024年4月から「相続登記」が義務化される。所有者不明土地が発生する原因の66%が相続登記未了であり、譲り受けた側の不動産所有者の高齢化の懸念もある。この義務化に伴う対応について、町民への万全のサポートが必要であると考えているが、どうか。

A

町長 これまで、相続登記には法律上の義務がないため、所有者不明の空き地・空き家が増加し、全国的に問題となっている。

相続登記の義務化により、所有権を知った日から3年以内に相続登記することが法律上の義務となり、正当な理由がないのに相続登記しない場合、10万円以下の過料が科せられる可能性がある。当町でも、空き地や空き家が増え、未登記物件が増えつつある。

相続登記に関しては、法務局の管轄であるため、手続き等は個人が法務局で直接行うか、司法書士等を紹介して行うことになる。町としても、窓口や電話での相

談対応、また、チラシの配布や広報での周知等、法務局と連携をとり情報共有し、町で出来ることを行っていく。



相続登記が義務化

求人支援は 町長 取り組んでいく

Q

現在の仕事に加え、短期就労・アルバイトを求める方が全国的に増えている。町として、新たに独自の支援体制を整えるべきではないか。

A

町長 令和5年度より、町独自の取組として、「おしごとバンク」を創設し、町の「お仕事情報掲示板」をおしごとアドバイザーが運営している。フェイスブック上で事

業者と求職者にマッチングの機会を提供するもので、町内の募集事業者は求人情報を掲載し、求職者がある事業所に直接連絡する仕組みで、双方無料で利用できる。登録が苦手な業者については、アドバイザーが手続きをしている。また、収穫時期等の期間限定の募集もあり、現在の登録者数135名、募集記事の掲載件数21件、10月までの採用者数7名である。今後もこの仕組みを広くPRし、求人情報支援に取り組んでいく。



この掲示板の利用は無料です



おかだかずお 議員
岡田和夫

確保と割り当ては

町長 既設避難所や予備施設の充実を

Q

津波が予想されている地区で、二次避難所が足りている地区と、足りていない地区がある。それで大丈夫なのか。

また、避難場所がないから、どの地区住民がどこ避難所に避難するのか。割り当てについてどのよう

A

町長 現在30か所の二次避難所がある。「おひさま保育園」の建設や、人口減少などの要因により、二次避難所の収容人数のほうが多くなっている。

田曾浦地区では避難する



足腰丈夫に

区民の居住スペースを確保するため、コミュニティ助成事業を活用し、グラウンドや空き地に設置できる避難

生活用ドームテントを50張整備する取組も行っている。このような取組を推進しながら、既設の二次避難所や予備施設の充実を図っていく。

二次避難所の割り当てについては、「部屋割り」については決まっていない。地域住民を主体とした地区による避難所運営訓練などを通して、学校施設をどのように使用していくのか、学校教育活動の早期再開も踏まえて、町も地域に入っ

被災者支援活動は

町長

総力をあげて

Q

二次避難所運営に關して、役場職員は配置しないという考えなのか。

住民だけに任せるのでなく、日頃から役場職員が災害時の手立てについて訓練し、被災者を指導することが必要だと考えるが、町長の考えは。

A

町長 南海トラフ地震が発生した場合、職員は「災害時職員行動マニュアル」に基づき、近くの庁舎等に参集することになっている。

参集後は、町災害対策本部で各班にわかれ、災害対応を行う。被災直後から多くの災害業務があり、行政



訓練が大事

として総力をあげて取り組む必要があり、町職員が避難所の運営に携わることには難しいとされている。

基本的に避難所の運営は避難者が自ら行うこととされ、町では「南伊勢町避難所運営マニュアル」を作成し、各地区に説明のうえ配布している。

来るべき災害に備え、避難所における運営訓練等を促進し、地区の防災意識や防炎行動力を高めるとともに、自主防災組織の育成・支援を行っていく。



た おか さとる
田 岡 悟 議員

今後の養殖漁業は

町長 経営の安定化を

Q 当町では、これまででも行政支援として、漁業共済制度の赤潮特約、漁業近代化資金への利子補給を行っているが、今後の養殖漁業への支援は。



広がる緑のじゅうたん

A 町長 養殖漁業に ついて、養殖共済の負担額に対する補助率を継続し、今年度からはクロマグロも対象とし、契約者負担額の軽減を図っている。

今年度は新たに真珠母貝及び稚貝購入対策補助金も新設し、養殖漁業経営の安定化を図っている。

また、高齢化や後継者不足に対する取組として、漁業就業の相談窓口の構築、漁師塾制度を拡充し、後継者育成のための支援を行っている。

今後も漁業・漁村を支える人材の確保・育成に取り組む、漁業者や関係団体等と連携し、養殖漁業の振興施策を推進していく。

観光漁業の認識は

町長 地域経済を活性化させる

Q 当町が抱える課題の解決には、観光漁業は切り離せないものと思いが、行政としての観光漁業の認識は。

A 町長 観光漁業とは、観光と漁業を組み合わせた取組で、観光客等が漁業活動に参加した



魚つかみ 最高!!

り、漁師の仕事や漁村の生活を体験したりすることを通じて、地域の漁業文化や伝統を宣伝し、地域経済を活性化させることと認識している。

観光協会では、事業者とともに「ありのままの暮らし」が体験できる南伊勢体験ワールドが実施され、養殖筏の餌やり体験などの漁業体験や、シーカヤック・

スキューバダイビングなどのマリンスポーツ・アウトドア体験なども行っている。町としても、観光漁業はこれからの観光事業に必要な取組と考えているので、漁協など漁業関係者と協議しながら、いろんな体験ができるように観光業と産業を結び付けて観光漁業の推進と漁業の活性化に取り組んでいく。



うえむらなのみ
上村直美 議員

安全安心のまちの実現は

教育長 小中学校を高台へ

Q

町長が掲げる「安全安心のまち」が目みえて実現され、町が活性化していくように感じる。

南島地区の小中学校の保護者に対して高台移転の説明会も行われたが、進捗状況は。

A

教育長 南島地区の小中学校については、小学校の老朽化、海抜の低さや海岸線への近さが課題となっていた。昨年度、3度の説明会を

開いて保護者や地域の方々の思いを聞いたうえで、南島地区小中学校統廃合実行委員会で検討した。

その結果、小中学校を一体として整備すること、新校舎を現在の南島中学校の場所に建設すること、新校舎建設と小学校統合の時期は令和9年4月を目途とすることについて、年度末に答申を受けた。

一方、なかよし保育園は、現在、海抜4メートルと低いところにあるため、南島中学校グラウンドの一角に新園舎を建設し、移転する。



安全への一歩

公園整備状況は

町長 着実に進んでいる

A

新しい公園やその他の公園・グラウンド整備状況、今後の維持管理は。

Q

町長 子どもから高齢者まで幅広く遊びや体力作りができ、憩いの場となる公園づくり、公園や運動広場の再構築を行っている。



子どもから高齢者まで

今年度は、旧南島保育所跡へ公園整備をし、公募の結果、「なんとう公園」と決定し、12月19日の供用を開始する。

他2公園の改修は、老朽化や経年劣化した遊具の撤去・更新や獣害対策の一つとして、フェンスの設置を進めている。

今後も、利用しやすい公園や広場づくりを進めていきたい。



たなか きいちろう
田中喜一郎 議員

権利ようごセンターの取組は

町長 相談に応じ支援を

Q

権利擁護が必要な人を早期に発見・

支援するために、当町でも令和4年8月「権利ようごセンター」を南伊勢町社会福祉協議会に設置した。「権利ようごセンター」の取組は。

A

町長 当町では、元気で生き生きと

自分らしく、住み慣れた地域で安心して暮らしができる町をめざして「南伊勢町権利ようごセンター」を南伊勢町社会福祉協議会に委託し、設置している。

支援制度には、成年後見人制度や日常生活自立支援

事業、権利擁護生活支援事業の活用がある。生活を安心して継続していただけるよう「権利ようごセンター」が相談に応じ、支援を行っていく。

Q

超高齢化が進む当町において、消

防・防災の要となる各地区の消防団、広域消防の重要性は高まっている。また救急体制の充実、医療体制の充実と同じように重要だと考える。

当町における「消防・防災・救急体制」の現状は。

A

町長 当町における消防・救急体制

は、町民の生命と財産を守ることを第一に志摩市消防本部・紀勢地区広域消防組合による常備消防と南伊勢町消防団が連携を図り消防・救急対応を行っている。町の防災体制については、地震や津波、台風などの風水害に備えるため、「南伊勢町地域防災計画」や「災害時職員行動マニュアル」、「南伊勢町タイムライン」により災害時の応急対策を



命を最優先

迅速かつ、的確な配備体制を構築して防災活動を行う。

また、災害時に行政機能が低下する中にあっても、影響を最小限にとどめるため「南伊勢町業務継続計画」を作成しており、非常時優先業務の実施に体制を整えている。

これから、自助・共助・公助それぞれが災害対応能力を高め、連携し、消防・防災・救急体制の整備を促進する。

権利を守る



地域を守るのは

町長 応援体制の整備を促進



もり 森 もと 源 ひさ 久 議員

買い物不便対策は 町長 公共交通の利便性向上を

Q

買い物ができるお店や金融機関の閉店、町の出張所の閉鎖など、不便さの連鎖により人口減少へ拍車がかからないか心配である。

住民の不便さ解消・人口減少対策として今後の構想と考えるは。

A

町長 住民の方々から買い物不便に關し、多くの声を聞いている。これを受け、各事業者の移動販売車の購入補助や



ドア to ドアの公共交通で利便性向上

病院やスーパーへの町バスの乗入れ運行など公共交通の利便性向上に取り組んできた。一方で、地域の商店の撤退が進んできていることから、必要な対策を検討しながら進めている。

また、担い手確保にもつながるため、まちづくりの5つの柱の中「だれもが元氣なまち」を進めていくことが不便さ解消・人口減少対策だと感じている。今後も財源とともに費用と効果を見定めた上で、町にとって真に必要な対策を実行していく。

今後の未来図は

町長 「ここに住んで良かった」と思える町を創り上げる



令和7年「全国豊かな海づくり大会」開催地に決定

Q

時の流れは早く、町長就任から約2年が経過した。町長が考えた施策がされ、今現在となり、この2年間の町政をどう総括するのか、また今後の当町の発展・未来図は。

A

昨年度は色々皆様にご迷惑をおかけしましたが、今年度は、一歩一歩着実に取り組み、

前進したと感じている。町民の希望が実現できるよう地域の団体・町内外の方とも協力しながら取組を進めてきた。今後心から「ここに住んで良かった、ここに住みたい」と思える南伊勢町を創り上げていく事こそが今後の発展に向けた未来図であるという思いをもっており、5つの柱のまちづくりを、10年先20年先を見据え確実に実行していく。

みなみいせまつりの開催は

町長 来年、再来年へとつなげる

Q

第一回みなみいせまつりが10月に開催され、町内外からたくさんの方々がお越しになり、会場各所で参加された方の笑顔がふれる楽しいまつりで大成功と感じた。町長の所感は。

A

町長 3年余りコロナ禍に見舞われ、当町でも様々なイベントが開催中止を余儀なくされてきたなか、満を持しての開催であった。当日は1万3千人を超える多くの

お客様が来場され、好評の声をいただいた。今年得られた多くの実績と教訓を糧に、来年、再来年へさらに準備を怠ることなく進めていく。



おかもと まこと 眞 議員



こころひとつに

町政懇談会について

町長 声をかたちに



全地区で1075名の方が参加

Q

38全地区へ出向いて、町の考えを説明し、地域の声を聞き、実りの多い懇談会であったと感じている。町長の所感は。

A

町長 懇談会は「一人ひとりの声をかたちにして、私達みんなの元気で、町を輝かせた

い」という思いで開催しました。意見交換では防災に関することや、仕事・道路、獣害や買い物など生活に密着したご意見ご質問が多くあった。迅速に対応できたものもあれば、解決に向けて時間を要するものも、出来ない判断するのではなく、どうすればできるか解決策を考え、スピード感を持って対応していく。

◆委員会活動報告◆

～より良いまちづくりのために、調査・研究、
そして、現地視察などの活動を積極的に実践しています～

総務建設常任委員会

町の財政・産業・建設・防災・上下水道・まちづくりなどについて調査や審査を担当しています。

活動報告

◆10月18日

調査事項

●上下水道課所管

旧南勢地区の上下水道管の老朽化について調査しました。

◆11月15日

調査事項

●会計課所管

会計課の業務、事務の流れ、内部牽制について調査しました。



委員会 組織構成

委員長 河村 健志

副委員長 田岡 悟

委員 岡田 和夫

松葉 和久

東 伊久雄

山本 克彦

教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険・町税などの調査や審査を担当しています。

活動報告

◆10月16日

調査事項

●デマンドバス

予約センター視察
大新東株式会社
南伊勢営業所（内瀬）

◆11月20日

調査事項

●町内教育施設視察

南島東小学校
南勢中学校

◆12月18日

調査事項

●町内教育施設視察

南島西小学校
南島中学校
南勢小学校



委員会 組織構成

委員長 岡本 眞

副委員長 上村 直美

委員 田中喜一郎

掛橋 靖

倉田 育

森 源久

11月～12月は、町内の小中学校全校の現場視察を行い、子どもたちの安心安全の教育環境を確認しました。

みんなの声

つぶやき広場



気をつけて

以前から夜間においても、釣りをしている方が多くみられるようです。

特に、岩場で釣りをする方もいるようで、大変、危険だと思います。

標識、注意看板も必要かもしれません。

しかし、夜間に釣りをする行為を止めることはできないのでしょうか？

(40代男性)



新しい、なんとか公園

新しい公園はきれいで、広くて、子どもたちがたくさん来て、楽しそうに遊んでいます。もっと早く出来てほしかったけど、子どもから大人まで楽しめる公園が出来て、本当に嬉しいです。

(50代女性)



ハクビシン

最近、ハクビシンが空き家に棲みついてだんだん増えてきています。何かいい対策はあるのかしら。

(60代女性)



海づくり大会

令和7年に全国海づくり大会が南伊勢町と志摩市で開催されると聞いて大喜びです。海と共に発展してきた町なので、これからも海の恵に感謝をします。

(70代男性)

あなたもつぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です(^^) みんなでつぶやきましょう。

〒516-0194 南伊勢町五ヶ所浦3057 議会事務局 宛 FAX 0599-66-2164

みんなでやっとならで～

** 健康太極拳教室 **

- 🌸 体力や体調に合わせ無理なく続ける事を第一に考える、健康長寿のための太極拳教室です。
- 🌸 高齢者の方でも身体に負担の少ない動きで、無理なく始められます。
- 🌸 みなさんの参加をお待ちしております。

毎月第1・第3水曜日 午前10時30分～午前11時30分
ふれあいセンターなんとう（村山）



議長掛橋靖

議会広報特別委員会

委員長 森源久
副委員長 山本克彦
委員 倉田 直美
委員 上村

令和6年能登半島地震により犠牲となられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

依然として予断を許さない状況が続いていますが、被災地域のみなさまの安全確保、そして一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



編集後記



近年においては、熊や猪、猿等の動物による人間社会への被害が多く報道されるようになってきました。これらは、地球温暖化による気象変動も要因の一つとして挙げられています。それに伴い、以前から言われているのが、脱炭素、エコな社会です。「エコ」とは、エコロジーを略した言葉で、環境に優しいというような意味で使われることが多いのですが、もう一つ近年、広がっているのが「エコノミー」を略した言葉であり、経済、節約を表現します。環境と経済との両立は、大変難しいです。ごみの削減・リサイクル、節電・節水を心がける等の環境に配慮した生活を意識してみませんか。 (森)

議会だよりについてのお問い合わせや、議会に関するご意見、ご要望がございましたら議会事務局までご連絡ください。

☎0569(66)1781
FAX0569(66)2164